

東北地方 1か月予報

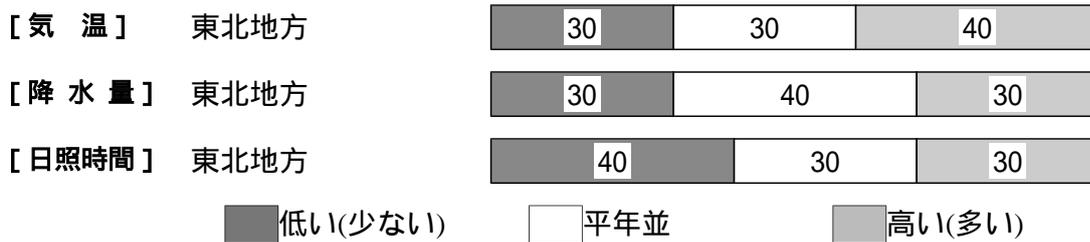
(6月21日から7月20日までの天候見通し)

平成20年6月20日
仙台管区气象台発表

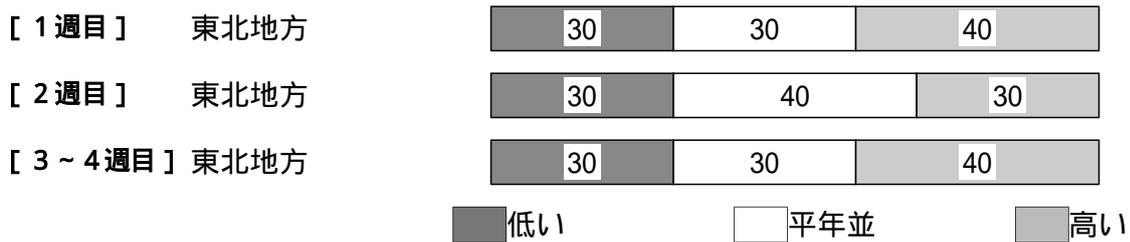
< 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1か月 : 6月21日(土) ~ 7月20日(日)
1週目 : 6月21日(土) ~ 6月27日(金)
2週目 : 6月28日(土) ~ 7月 4日(金)
3 ~ 4週目 : 7月 5日(土) ~ 7月18日(金)

< 次回発表予定等 >

1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は6月27日
3か月予報 : 6月25日(水) 14時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

(1) 30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ~ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
青森	19.4	94.3	167.4	17.9	18.7	20.2
深浦	19.7	136.6	166.3	18.2	19.0	20.5
むつ	17.9	123.4	142.5	16.3	17.2	18.7
八戸	18.4	117.3	154.1	16.8	17.7	19.3
秋田	21.2	182.2	155.9	19.8	20.5	21.9
盛岡	20.2	156.7	130.1	18.9	19.6	20.9
大船渡	19.4	187.4	131.5	18.0	18.8	20.2
宮古	18.3	146.3	128.6	16.7	17.5	19.1
仙台	20.4	181.0	107.7	18.9	19.7	21.2
石巻	19.8	146.5	126.8	18.3	19.1	20.6
山形	21.6	150.1	131.2	20.1	21.0	22.4
新庄	20.8	196.8	130.5	19.4	20.2	21.5
酒田	21.5	195.0	153.5	20.1	20.9	22.2
福島	21.9	160.5	111.5	20.3	21.2	22.7
若松	21.9	175.1	138.9	20.5	21.2	22.6
白河	20.5	205.0	105.8	18.9	19.8	21.3
小名浜	20.3	159.9	123.8	19.0	19.7	21.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971 ~ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.4	87 ~ 113	90 ~ 109
東北日本海側	-0.4 ~ +0.4	85 ~ 112	91 ~ 106
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.4	84 ~ 111	88 ~ 113

(3) この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ~ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北地方	-0.6 ~ +0.5	-0.7 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.4	-0.8 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

(1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ~ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

(2) 予報する確率の数值は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10% 以下や 60% 以上の確率を付けられませんが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年6月20日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（6月21日～7月20日）：

前線や気圧の谷の影響を受けて、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目（6月21日～6月27日）：

前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。また、24日頃から台風が日本に影響するおそれがあります。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

2週目（6月28日～7月4日）：

前線や気圧の谷の影響を受けて、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目（7月5日～7月18日）：

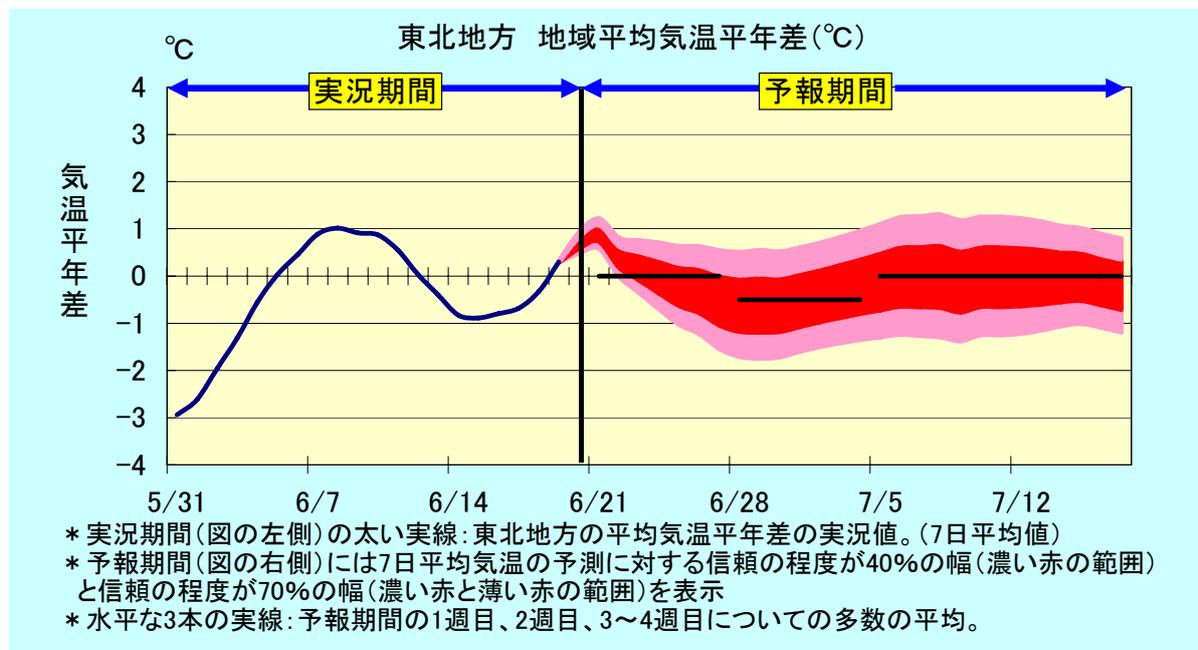
前線や気圧の谷の影響を受けて、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	11.0日	2.7日	2.9日	5.4日
東北太平洋側	9.3日	2.2日	2.4日	4.7日

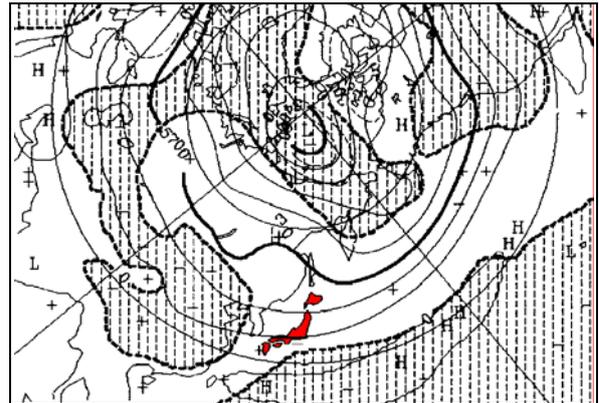
2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年付近、2週目は平年をやや下回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。予報は、他の資料からやや高めに考える。



3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

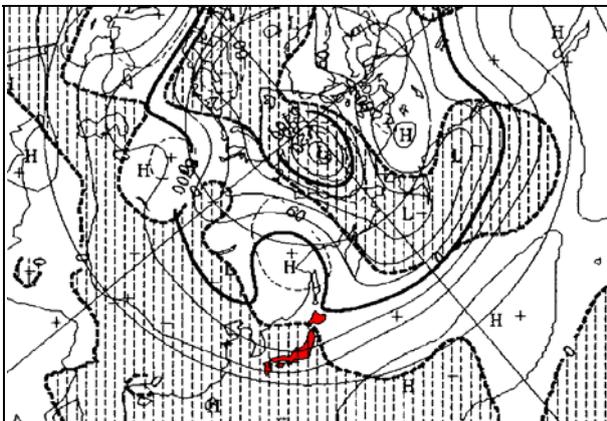
1か月平均: 日本付近から東海上は正偏差。日本の南東海上の対流活動は活発となり、日本以東でのジェット的位置は北偏し、東北地方は前線や気圧の谷の影響を受けやすい。地上天気図(図略)では本州付近に明瞭な降水域がかかる。



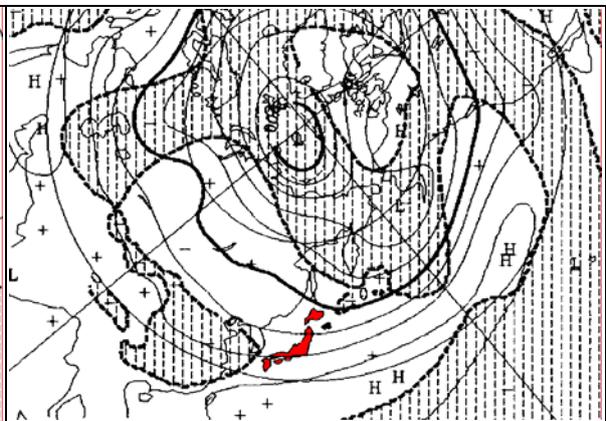
1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)

1週目: 東北地方以南は負偏差となり、地上天気図では明瞭な降水量が本州全体にかかることから、前線活動が活発でまとまった雨が予想される。また、前線に向かって南から流れ込む暖気の影響を受けやすい。

2週目: 日本の北に低圧部があるため一時寒気の南下も見込まれるが、日本付近は広く正偏差であり、その影響は一時的とみる。また、太平洋高気圧は西へ張り出すため、東北地方への前線による影響は小さい見込み。



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

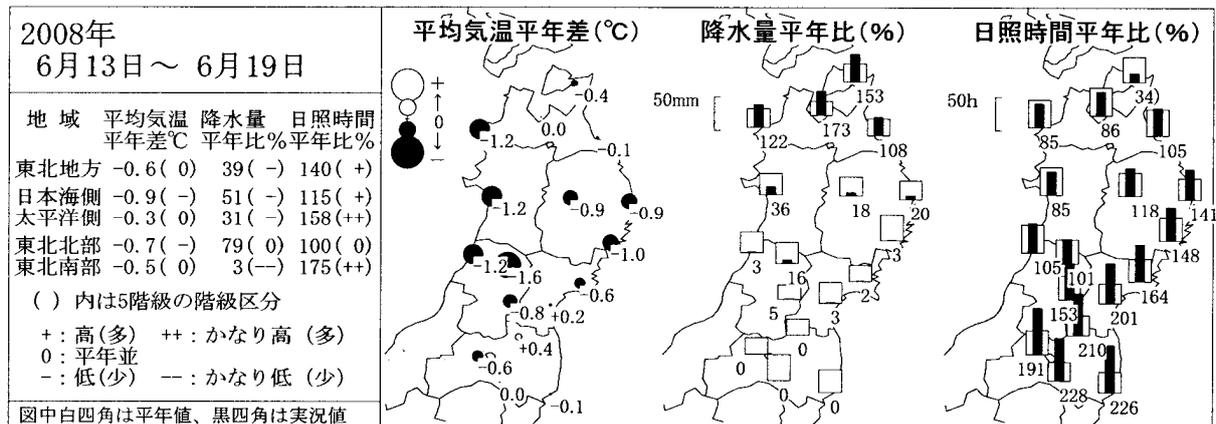
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (6月13日~6月19日) の天候の経過

この期間、東北地方は、気圧の谷や前線の影響を受ける日もあったが、高気圧におおわれることが多く東北太平洋側南部を中心に晴れの日が多かった。13日の日本海低気圧の通過後、寒気が南下し期間の前半の気温は低めで経過した。また、その日本海低気圧の影響により、13日には青森県藤崎町で竜巻が発生し、民家の屋根の飛散やビニールハウスの倒壊、りんごの倒木などの被害があった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)